くにみ

【第33号】
昭和35年6月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

巷に拾う美わしい話

……(第一話)……絹座ぶとん由来記

部落民の協力で見事に完成した泉田下の公民館に、温情あふれるような大写真が掲げられている。これは同部落の元老、「亀様」こと渡辺亀吉氏(七二才)の肖像である。

氏は、終戦前後の混乱時代から最近まで十数年間にわたって部落長その他の要職をつとめ、食糧増産から供出納税の確保など、他の模範たらしめ、殊に農道の開発には卒先して土地労力を提供し、その完成を速やかならしめた。今回の公民館建設に当っても、敷地問題で暗礁にのり上げるや、進んでこれが提供を申し出たため、話はとんとん拍子に進んだものだ。しかも在職中の手当は一円も私することなく、これを公共のために投出し、部落内に起きたいざこざも、氏の一言ですべて解決するという「聖者」である。

部落民は、今尊徳様と心から敬服し、公民館に出入りするたびに最敬礼してその余徳をたたえ、これにあやかろうとするものが続出している。おかげで新築早々にもかかわらず、立派な机や黒板からお茶道具、炊事道具にいたるまで置場に困る程にそろってしまったが、これらはみな、婦人会や青年団を始め部落有志の寄附したものである。部落民のこの熱意は更に部外者をも感動させ、他からの寄附の多いのも驚くほどである。同館をおとずれる者をまず感じさせるのは、真昼のような螢光灯であるが、これを寄附したのは半田の某魚店である。

【写真】上…第一話の渡辺氏
下…第二話のオートバイ

……(第二話)……オートバイ由来記

今様弘法清水から八ミリ映写機と、とかく寄附の話題をさらった大木戸に、こんどはまたまたオートバイ寄附というニュースがもち上った。

警察の近代化の波に乗るためというわけでもないが、わが国見町にも新国道が開通し東北線の電化が進められ、仙台、東京も隣接都市化した今日、駐在所にもオートバイ位は当然といいたいところ、そこで国見地区防犯協力会大木戸支部(支部長阿部富衛氏)では、みんなの協力で八九名の消防団員総出動で勤労作業を始めた。一回で約二万円を獲得した団員一同は勇気百倍、これから数回の作業で大丈夫目的の達成と大いにはりきっていた。これをききつけた例の大沼忍四郎氏、ここぞとばかり阿部会長を呼んで、むりやり十万八千円押しつけ、また、亀様が落成記念にしようと錦町の某綿店に座ぶとんを買いに行ったところ、同店の主人公はそれに感激して、亀様のものと同賀のものを倍の枚数だけ寄附しようと申出た。しめたと思った亀様は思い切り上等のもの十枚と奮発したところ、さすがは熱血漢の同主人公、いささかもひるむところなく二十枚と出てしまった。

こうして泉田下部落では、おやぢさんの集まりにはもちろん、婦人会でも青年団でも明かるい照明の下で、ふつくらした絹座ぶとんに坐って話合っているので、あしや尻が痛くなる心配なく、いつでもうまい相談ができるというわけである。めでたし〜〜

……(第三話)……野球道具由来記

スポーツ奨励は青少年補導の奥の手ともいわれているので、各学校はもちろん、各団体、各機関とも、競ってこれが奨励に努めている。わが国見町でも社会体育の振興のため、いろいろと工夫努力しているが、何分にも予算が少ないので思うにまかせない実情である。

ところが、この話をきいた某氏は、早速野球道具一式を買って町教育委員会に現われ寄附を申出た。これは本人の切なる要望もあったので特に名前を出さないことにして、品名だけをお知らせする。尚当分公民館で保管しておくが利用管理についてはその中お知らせするから、大いに利用していただきたい。

(公民館体育部より)

Cミット一、Fミット一、グローブ七、マスク一、ベース盤四、バット二、ボール六

議会だより

(一)六月定例町議会

六月六日午前九時町議会定例会が開れ、伊達地方衛生処理組合設立の件その他二十にわたる案件を審議、いずれも原案どおり可決決定された。議案は次の通りである。

(一)、伊達地方衛生処理組合の設立の件

最近の各市町村の悩みである屎尿処理対策として、伊達七町で共同屎尿処理場を建設(工費五六、〇〇万円梁川町栗野地区内旧河川跡の予定)するためのもので原案通り可決

(中　略)

(四)、国見町立学校施設の使用料条例制定の件

学校施設の使用は従来無料であったが、今回より公益を目的とする使用以外は次の通り使用料を徴収することになった。

○入場料等をとらない場合
昼間　三〇〇円以内
夜間　三〇〇円以内
○入場料等をとる場合
昼間三〇〇円〜七〇〇円
夜間三〇〇円〜七〇〇円
昼夜間五〇〇円〜一〇〇〇円
○特別の設備をするときは前項の三倍を増徴する
○電気料等は別に増徴する
○使用料は前納とする
○使用料納入後の全部又は一部の還付についての規定その他くわしくは町教育委員会へ

(中　略)

(四)、中小企業育成預託の件

中小企業者の育成強化を図るための対策で、町は金融機関(東邦銀行、伊達中央信用金庫)に二百万円以内の預託を行ない、これに対し金融機関は、見返りとして中小企業者に対し三倍額程度の融資を行なうためのものである。

(二)橋梁など十一個所の改修工事決まる

経済委員の現地踏査

国見町議会経済委員会では、去る四月三十日現地踏査の結果、緊急やむを得ないものとして、左記個所の工事を施行することに決定した。

○森江野地区
森山元木橋梁、徳江原護岸、徳江舟場橋梁
○大枝地区
川内富士見橋南橋梁、築館雲南橋梁
○藤田地区
石母田芹沢橋梁、石母田駒場橋梁、山崎川前橋梁
○小坂地区
内谷東脇橋梁、内谷西脇橋梁
○大木戸地区
高城川原橋梁

【写真】は現地における経済委員一行

水道を暮しに生かすママの知恵

6日〜12日

第2回全国水道週間

佐藤秀雄氏に記念品

わが町の水道給水戸数は、その後順調なのびを見、全国水道週間の中日に当る本月九日ついに六〇〇戸に達した。そこで町ではこれを記念して、給水第六〇〇号に当る佐藤秀雄氏に記念品を贈り大いに祝意を表した。

あれよあれよと見てるまに一二五ccのコレダ号オートバイができてしまった。さすが太っ腹の阿部会長もあまりの感激に目をうるませている。

新農業改良推進員

◎会長
○副会長
◉役員

▽小坂　斎藤実　▽太田川　三　▽宮町　○八島昌　▽全一条直工門　▽前田　安藤正　北　奥山邦夫　▽鶏町　五十三　▽板橋　野村茂　▽泉田　嵐音明　▽滝川　佐藤忠美上　佐藤一男　▽全中　◉仲野周一　▽全下　◉黒田武夫　▽滑沢　高橋有男　▽石母田▽鳥取　高野喜平　▽内谷　東　佐藤喜左工門　▽全北西赤坂兼治　▽全東　熊坂栄　宍戸収吉　▽全表　◉佐藤徳一　▽古内吉蔵　▽錦町　秦勇　治　▽全原　八島文蔵　▽全▽大町南　大勝藤繁　▽全　西　佐々木二郎　▽全崎北　▽山吉田惣吉　八島喜久次　▽崎南　吉田正一　千葉金八北　佐藤善郎　▽本町　秦箱

増収競技会

主催　国見町
国見町農業改良推進員
後援　桑折農業改良普及所
国見町農業協同組合
種目　水稲・大豆・馬鈴薯
競技方法　時期、範囲、参加資格、申込、審査、褒賞等くわしいことは担当の農業改良推進員におきき下さい。

◇農事メモ◇

稲作

1、第一回の中耕は早めに、田植七〜一〇日目頃天気のよい日に行うこと。

2、二化めい虫の早期防除。尚ホリドール散布による防除の場合は特に危害防止にお互に注意しよう。

3、除草剤PCPの使い方。
○田植前除草法
一〇アール当り七〇〇〜一〇〇〇グラムを田植三〜五日前に水に溶かすか又は畑土や砂と混ぜて植代後に水を張ったまゝ撒布する。
○田植後除草法(田植七日後頃)
活着したら(田植七日後頃)水の深さを五㌢位にしてPCPを一〇アール当り七〇〇〜一〇〇〇グラムを畑土か砂一〇㌔位と混ぜて撒布する。この場合稲に露のない時に行なうこと。
※田植前後何れにしても撒布後田の水を流出させないことが効果を高め又魚類に対する危険をなくすことであるから充分注意すること。

4、水苗代は全般的に苗おきが悪いので余分な苗はお互にゆずり合うこと。

5、二毛作田の肥料のやり方と田植は丁寧に。

麦種子の準備

「良いたね」を使うことが増収の第一歩、必ず採種圃産の種子を確保すること。

果樹

1、土壌流失防止
梅雨に入り傾斜地の土壌流失が多くなるので敷草、草生栽培によって防ぐこと。

2、りんご
第十回(六月二十六日〜二十九日)有機燐剤加用四一六式ボルドー液撒布。
斑点性落葉病の多発期であり、モモシンクイガの産卵初期オオワタカガラムシ孵化期アブラ虫ハマキ虫の加害期で重要な撒布である。

3、柿
DDT加用ノックメートか砒酸鉛加用一、六一八式ボルドー液を開花前と落花後の二回撒布すること。

4、七月の作業
○早生桃の収穫　充分すぎる位着色させること。
○祝は早いところでは七月八九日頃から収穫するが、未熟なものは採らない様に一〇〇玉までの大玉をとって出荷すること。
○草生園の刈取　雑草園の除草。

家畜

1、和牛
農繁期で濃厚飼料を増し草を多く与えるから必ず塩・分を与えることを忘れない様にすること。

2、緬山羊
これから暑くなると食慾が減じて来るから栄養不足にしないこと、又手入を良くし「羊マヒ」にかけない様にすること。

3、鶏
これからワクモの発生が多くなるから鶏舎は常に清潔にし時々消石灰を撒布すること、尚ワクモ駆除には硫酸ニコチンの原液をとまり木に塗ることがよい。

(桑折農業改良普及所)

35年度農作業賃金表

(甲)基本給

(一)常雇
男鍬頭　二五〇円
一級　二〇〇円
二級　一八〇円
女炊事婦　一六〇円
一級　一四〇円
二級　一二〇円
(一)日雇
男一、二級　三〇〇円
女〃　二〇〇円
(二)養蚕
男一級　三〇〇円
女〃　二〇〇円
(三)桑摘
三七五㌘(一メ)春一〇円秋一五円
(四)田植
男一級四〇〇円
男一級三五〇円
(五)麦打
(乙)請負標準
(一)田の部
二毛作田耕　五五〇円
牛馬耕一回　四五〇円
小切　三〇〇円
動力耕転　八〇〇円
荒植代掻　五〇〇円
機械除草　二五〇円
(丙)果樹の部標準
(一)袋掛請負モモ　一二銭
リンゴ　一四銭
(二)袋掛・摘花果日雇
一級　一六〇円
二級　一五〇円
三級　一三〇円
日雇は七時より六時半まで、休憩時間は午前午後各三十分、昼休九十分とする。(但し田植の場合は除外する)

◎大人も子どもも夜の外出はなるべく早く帰りましょう

◎第一回吾妻観光団募集中（六月二十日実施）……申込〆切六月十八日正午

「心の晴着」話合い（2）

見栄と因習のとりこ　みせるための結婚式

どこでも話題になったのは、近頃結婚式がはでになり、嫁支度や調度品のはげしい競争のため、結婚費用の重荷に苦しんでいることである。その原因はどこにあるか、これを解消するにはどうしたらよいか、さすが年頃の子女をもつ親たちの声だけに、全く深刻であり、真剣であったので、これを要約してご紹介する。

㈠絶対やめたい　衣しようみせ

式の前後に、友人や親せき、近隣の人たちをよんでみせる、お茶振舞などといって女客をよぶ、よばれた嫁理上盛んにほめる、これが世間にひろまるこうわさ話となる、ほんとうにうるさい話である。

㈡嫁、調度品、祝宴など見せ物扱いするな

まるで人形のようにでっちあげた花嫁、これみよがしと並べた調度品、部落のレクリエーションと思われる乱ちきさわぎ、どれを見ても、結婚式の神聖さなどみぢんもない。各人各様の下心あっての見せ物である。

㈢結婚当事者中心でありたい

○日頃お世話になっている人人、近所の人や親せきに対する感謝の会だという意味に対し、それほど感謝したいなら日常もっと仲よく助けあうべきだとの反論もあった。

○部落などのレクリエーションと思う人、泥酔するのが礼儀であり、泥酔させるのが人情であると思っているものがある。

㈣愛情過多症

子女に対する愛情の大きさを物質であらわそうとする——裏返せば愛情の貧困さを示すものである。ほんとうに子供が可愛いなら、もっと別の方法があるはずである。

㈤嫁は商品か

実物よりよく見せようとする虚栄心の現われ、一夜明ければ地金があらわれる。景品がつくものは粗悪品か見切品だと皮肉つたことばもあった。

㈥仲人の真のてがら　は改善結婚の推進

仲人の中には自分の手柄を誇示するために、はでにするよう努力している人がある。

結婚改善の虎の巻　みんなの自覚と協力

伯父伯母よりも社会の支持が大切

結婚の本質に立ち、これを合理化、簡素化して共通のなやみを解消するということは、決してなまやさしいことではない。これこそ万能薬だというきめてなどあるはずがない。しかし、集まった人たちの熱心さからみてまんざら不可能でもなさそうだ。各地で出された意見をもとにして処方箋を書いて見よう。要するにみんなの自覚と協力さえあれば大丈夫実現の可能性があるようだ。

㈠嫁むこの自覚と協力

青年団などの学習活動では立派なことを語っていながら、いざ自分の番となると尻ごみしたり、親や社会にかぐけてみな逃げてしまう。結婚するのは君たちだ。みんなでなければましあって実行することが大切だ。仲間が中心になって、会費制の結婚式でもやってみようではないか。おとなの世界では、昔からの慣習や世間体に気がねして、なかなか実行できない。又青年団などに入っているものはまだよいとして、それに入っていないものには困る。婦人会やPTAなどおとなたちとよく話しあい、又未組織の若人たちにも働きかけて、みんなの協力を得るよう努力することが青年団の社会活動として大切なことであろう。（つづく）

農繁期　防犯と事故防止に努めましょう

初夏のおとずれと共に、農家で田植えや麦のとりいれで猫の手も借りたい忙しさである。この忙がしさにつけこんで、いろいろの犯罪や事故がおこり、私たちを不幸の底に突きおとすことがあります。もちろん、警察の方やそれぞれ係りの方がいろいろとお骨折りになっていてくださるわけですが、私たちは、まず自分で自分を守ることが大切です。次のことに注意して幸福な生活をすごしましょう。

①夜間はもちろん、昼間でも家を留守にするときは、戸締りを厳重にこと、あき巣や忍込みなどのどろぼうを防ぎましょう。

②押売りや物もらいは、どろぼうや女にいたづらする男にも早変りしますから、その姿を見つけたら早く警察に知らせましょう。

③お父さんやお母さんが、忙がしくて可愛いお子さんを見てやれないことから、幼児のけがや水死事故が多く発生します。また少年が不良に走るのもこの季節が多いのです。忙がしい中にも幼少年の保護善導に気を配りましょう。

④老人のけがや水死等の事故の多いのもこの季節です。

⑤火災防止には特段の注意をしましょう。

蚕室、焼ぬか、麦から焼き取灰、幼児の火わすら、たき火の放置、提灯のおき忘れなど、農繁期の火災もなかなか多いものです。

④火の用心からも有難い。その他かぞえあげれば限りがない。とにかく百の議論より一つの実行が大切です。部落民が一致してかかれば必ず成功します。

【写真】は保育所のよい子達　上…徳江、下…塚野目

優良児表彰　愛と努力の結晶　鈴木英明ちゃん等三十五名

親の経済力と健康を考え、希望するときに、必要なだけの子どもを生むことが、家族計画の基本態度であるが生んだかぎりはこれを丈夫に育だてりつぼに教育しなければならない。わが国見町ではこの見地に立って数年来努力してきたわけであるが、その一つとして行なった「あかちゃんコンクール」の成績を発表し、去る五月二十七日役場会議室でその表彰式を挙行した。コンクールは昭和三十三年七月から三十四年六月までの一年間に生まれた二二五名の赤ちゃんについて知能、体格をしらべて優良児三十五名を選び、そのうちから保健所長十名、県知事一名の表彰をうけたもの、その氏名次の通り

○県知事表彰

氏名	住所	保護者
鈴木英明	築館	清二

○佐健所長表彰

氏名	住所	保護者
高橋昭一	藤田	和夫
宍戸淳子	石母田	昭吾
高橋正彦	板橋	軍蔵
大槻典子	山崎	喜三郎
秦真津子	藤田	次男
村上康明	全	直治
佐藤忍子	石母田	昭七
今野孝子	藤田	辰男
安達全	全	友吉

○町長表彰

氏名	住所	保護者
柳大波	藤江	博
村上勝彦	藤田	貞
鈴木祐市	泉田	次夫
斎藤昭夫	吉田	吉次
斎藤富男	大木戸	永一
渡辺美智子	長明	茂
松浦美智子	七郎	
内池誠	山崎	育男
大波徳江	小坂	治男
菊地伸	小坂目	光
斎藤弘	泉田	仁
五十嵐彰	藤田	志
鈴木友	藤田	誠
谷津俊男	貝田	春雄
		亀俊

夫妻学級ではこんな勉強をしています（森江野）

先日、森江野夫妻学級で立てられた年間の学習計画を、そっとお借りしてその一部をご紹介します。

これから始められる方々は参考にしていただきます。

五月　わが子の兄弟けんかをどうさばいているか

七月　わが家の食生活をどう改善するか

八月　家内中で踊る踊りの練習

九月　客の接待を上手にするにはどうするか

十月　交歓学習

全　子どものしつけで失敗した話、成功した話

十一月　町政について

十二月　常に若かさを保つにはどうすればよいか

全　農家の休日をうまく使うには

一月　時事問題について話をきく

全　嫁と姑の問題について

二月　農業経済と農政問題について

全　夫は妻に、妻は夫に何を望むか

工藤範郎	山崎留治	
紺野恵美子	泉田英生	
鈴木弘子	川内司	
松浦正博	西大枝弥重郎	
半沢憲二	山崎幸雄	
鈴木英二	川内英行	
沼田裕一	藤田与造	
吉田美裕	石母田稔	
松浦明彦	金一	

厚生課より

麥類の増收は種子の更新から

食用としてはもちろん、家畜飼料としても重要な麦類を、〝良いものをたくさんとる〟には、良い種子を播くことが大切です。同じものをとりかえないで何年も作りますと変ったり、病気に弱くなったりしてとれなくなることは、皆さんよくご存じの通りです。町では、この良い種子をとるために、特別に種子とりの畑を設けておりますから、この畑からとれた種子を播くようにして下さい。

特に二毛作用としてはムサシノムギ（極早生種）を大麦では関取三号、小麦では農林六四号、アオバ、裸麦ではバンダイ裸麦

希望者は地区推進員に、今月二十五日までに申し込んで下さい。（経済課・普及所）

種子の申込みはお早く

銃剣道でも県下一？

わが国見町の剣道といえば、成年、少年揃ってその名が天下にうたわれていることは、万人共にみとめているところであるが、こんどは更に銃剣道でも、県下一らしいという評判である。それは去る十日郡山市で開かれた全日本銃剣道連盟県支部主催の第一回県下銃剣道選手権大会に出場した国見チームが、団体にみごと優勝したからである。同大会は終戦後初めてのことだけに、昔とったきねづかで腕におぼえのある旧軍人たちや、今現役の自衛隊の面々など、われこそと思う猛者たち百五十余名が参加して、木銃に火花をちらしてたたかった。わが国見町からも三チーム（一チーム三名）参加し、何れも優秀な成績で相手チームをうならせたが、特にAチームは並みいる強豪を突きのけて最高の栄冠をかちえたのである。尚主将の佐藤徳造氏は個人戦で第三位をとり、県支部を代表して東京の全国大会に参加することになった。

【写真】は記念撮影

ことしは塚野目にも……喜ばれる季節保育所

一昨年から始められた徳江南部の季節保育所は、今年も早くからその開設を待たれていたが、去る本月五日、三十八名の幼児を迎えて開所した。炊事場、食器、遊び道具その他の用具もそろい、保母さんを始め世話人、父兄まで手馴れたもので、すっかり軌道に乗ったという感じである。ところでお隣りの塚野目公民館（分館長佐久間直次氏）でも部落民たちの強い要望にこたえて、今年から始めるべく、関係方面と交渉し、準備中であった。部落総がかりで資材を持寄り、労力を出し合って炊事場、ブランコ、シーソーなどをつくり、燃料や野菜を供出し、食器類を用意して、いよいよ今月六日開所式を行なった。すべて部落一団となり、先輩徳江南部の指導を受け、きわめて順調に進んでいるのはほんとに気持よいことである。

季節保育所の生みの親である徳江南部公民館の前分館長後藤豊松氏は次のように話している。

季節保育所というものが、これほどみんなに喜ばれるようになろうとは考えなかった。

①しつけがよくなり、集団生活になれ学校教育の準備としてもこの上ない。

②唱歌、遊戯、工作などを習うために、保育所を止めてからの幼児の生活がきわ立つてよくなる。

③幼児の衛生上、栄養上、安全上から親たちは安心して働くことができる。

ぜひ御一読を！「印鑑」の取扱いは慎重に

国見町役場総務課

わが国では昔から「首と引きかえ」といわれるほど印鑑は大切に取扱われてきた。あらゆる法律行為の責任は記名調印によって表明され、不動産登記法又は民事訴訟等に署名押印するため、印鑑証明の規定があり印鑑証明の提出によってその人違いのないことを証明するわけである。印鑑証明の発行は御承知のとおり市町村役場であり、役場では地方自治法第二条第二項により、固有事務として条例に定め、これを処理している。

事務の内容は印鑑登録と印鑑証明の発行である。印鑑届並に改印届はその町に住居を有し住民登録をしている成年者より受理する。

病気、その他の理由により代理人によって届出をする場合はその役場に印鑑登録をしている者二人の保証を要する。印鑑証明の請求について本人より委任状を必要とする。簡易な事務ではあるが、町村合併で大きくなり、現在窓口にくる住民に面識ある人は少なく、その人の真否を調査するのは困難で、現在の慣行では出頭した人が本人だと主張する以上、性別が違うか年令がかけ離れていない限り特別に疑念を起す事情もなければ、それ以上追及する方法もなく、これが取扱いについて明確を欠き、執務上支障を生じ困る場合がある。

偽造の印鑑で他人の改印届をなし、その印鑑証明によって所有名義を変更し、それを担保として金を借りたという不正事件が、昭和三十年に某市に発生した。この事件については、裁判所は印鑑係事務員の処理方法並に平素の執務状況まで調べて「過失である」と認定して、某市は原告に対して損害を賠償する義務があるという判決を下した例がある。

経済生活が複雑となり印鑑の重要性も加わるので、印鑑事務取扱者は、印鑑行使の公正と取引きの安全をはかるため、融通性を欠き各位の期待に反する場合もあると思うので、印鑑の取扱いに認識を深められるよう切望する。